

表彰大臣文科に小部出

ふるさと
生部

第 22 号

発行日
2019年 3月 15日

発行者
いづえ地区
まちおこし協議会
0866-62-3960

独自の防災マップを作成
高梁・巨瀬社協と交流
飛び出せ いづえっ子
出部周辺グルメ散歩
みんなが輝く文化祭

2面
4面
7面
8・9面
10～12面

出部小学校は「学校安全」文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

本校は、平成 29 年度「文部科学省委託・岡山県実践的安全教育総合支援事業」の研究指定を受け、家庭や地域と一体となった交通安

全・防犯を含む生活上の安全に関する指導や授業研究、あいさつ運動などに取り組んでまいりました。

このたびの受賞は、保護者の皆様や公民館をはじめ

地域と一体 安全教育

とする地域の皆様方、そして、岡山県教育委員会、井原市・井原市教育委員会、井原警察署等、本校の教育活動に対してご支援ご協力・ご指導をいただいております。

「ごさいました」とお礼のあいさつをする姿も見られるようになりました。出部の子供たちは、学校教育目標である「思いやる子」「考える子」「がんばる子」を目標に一生懸命にがんばっています。

この受賞を機に、「笑顔であります皆様方のおかげであります」と心より感謝申し上げます。

子供たちを温かく見守ってくださっている皆様のおかげで、毎日充実した学校生活を送ることができました。また、登下校中に横断

「この受賞を機に、「笑顔であります皆様方のおかげであります」と心より感謝申し上げます。」

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(出部小校長 山部英之)



歩道で停車してくださった運転手さんに「ありがとうございます」

出部地区人口	2019年 2月末日現在	7,399 (156)人	男3,597 (51)人	女3,802 (105)人	世帯数3,062 (146)戸
	2019年 10月末日比	5 (1)人	1 (7)人	4 (-6)人	17 (1)戸

※カッコ内は外国人

近年、全国各地で水害や土砂災害が発生している。地球温暖化で、排水施設の整備水準を超えるような水害がいつ発生するか分からない。巨大地震も100〜150年に一度の周期で発生しており、南海トラフ巨大地震発生も懸念されている。

こういう現況の中で何もせずにはいられない。そこで、「NPO法人 まちづくり推進機構 岡山」の助言をいただき、防災マップ作成について約1年前より取り組んだ。

最初は、地域の皆さんに呼び掛けて、地域を把握する「まちあるき」を行い、自分たちの地域の「安全な場所」、「知っておくと災害時に役に立つ場

所」、「危険な場所

などを見て回った。

それを整理し、地域の実態を確認した。

検討し、いろいろな表示すると見にくくなるた

限必要なもののみ防災マップへ掲載することとした。この間には、西日本豪雨も発生し、出部地区でも浸水による被害

独自に防災マップ

避難カードも作成 全戸に配布



め、指定避難所、公

園 平成30年7月崩壊

箇所 病院、大型店

舗 ガソリンスタン

ド、警戒区域等、最低

が多数発生した。

真備町では多くの犠牲

者が出、市内でも犠牲

者が出た。

この豪雨で、河川が

氾濫し地区内が浸水した愛媛県のある地区では、自分の名前や住所などの個人情報、緊急避難場所、移動手段などを記載した「災害・

避難カード」を作成しており、事前に逃げ場所等を把握していただき、逃げ遅れを防ぐことができ、犠牲者を出さずに済んだ。

岡山県も作成を呼び掛けているという情報により、「避難カード」も作成することとした。

防災マップは、「出部地区 わが家の防災マップ」とし、避難カードとともに昨年12月に作成し、順次 出部地区自治会の全戸へ配布することとした。

この防災マップ配布

に際し、「防災マップを活用しよう」と題し、「まちづくり推進機構 岡山」を講師に招き、防災講座を開催した。

出部中部、四季が丘は1月5日、七日市、西部は2月2日に、自治会長さん等を対象に行った。

全戸への配布物は、次の通り。

- ・ 出部地区 わが家の防災マップ
- ・ 避難の基本的な考え方 (A4、1枚)
- ・ 避難カード (折って名刺大)

- ・ 「避難カード」配布・記入・注意点 (A4、1枚)
- ・ 防災く地震・火災

備えて (A4冊子)

◇

地域の皆さん お一人お一人、また、家族

や地区で、自分や地域を自分たちで守るということが大変重要になってくる。

いくら危険だと言われても、なかなか、今がそのときと思えない気持ちを多くの方がお持ちだと思おう。

「出部地区 わが家の防災マップ」等を基に、市から全戸へ提供されている「井原市防災マップ」などを使い、地域の安全を作っていくために、いろいろなことに取り組んでいただきたい。

何もない今、こう

なったらどうするとうことを考えて話し合っておくことが重要であり、それが「出部地区 わが家の防災マップ」の役目と考えている。

(防災部会)

女性会だより

ひまわり学級



「園芸教室」

12月15日

苔玉作りに挑戦。女性会役員が山から苔を採取し、シクラメン花を中心にして制作。見ていると心が落ち着き、毎日の生育が楽しみです。



「健康講座」1月12日

市スポーツ課職員4人を講師に、ローリングとディスコンという団体戦競技をしました。

栄養教室



「高齢期の健康づくり、脂質控えめの食事」1月19日

献立は「桜エビの混ぜご飯」「七福煮なます」「里芋の粕汁」「鶏肉の八幡巻き」「黒豆入りトマトゼリー」。

11月25日には「カルシウムたっぷりの食事」をテーマに開きました。



井原市出初式を彩る



出部女性会総勢30人は全員おそろいの制服に身を包み、市民会館で行われた出初式に参加しました。式典では立ったり座ったり、規律よく号令に合わせて行動。二度とできない経験をさせてもらいました。
(1月20日)

出部社協と高梁・巨瀬社協が交流会



巨瀬社協の皆さん

ボランティアアセンター

あり方を探る

意見交換 生々しい実情も



出部社協からの参加者

出部地区社会福祉協議会では1月31日に、高梁市の北東部にある巨瀬(こせ)地区社会福祉協議会との交流会を出部公民館で行った。

主要テーマは出部社協が井原市で先陣を切って3年前にスタートしたボランティアセンターである出部の「おかげさまセンター」と巨瀬の「スケットこせ」の活動状況について現状、今後の課題等について意見交換した。

参加者45名(高梁からは21名)全員が発言。予定時間をオーバーし1時間半も、生々しい実情などが話し合われた。

65歳以上の高齢化率は人口7000人超の出部28%に対し、人口

1000人超の巨瀬は48%。地区環境は大きく異なるが、必要とされる作業内容については、大差ないこともわかった。今後のあるべき有料ボランティアについて、もつとしゃべりたかった、時間が足りないとの余韻を残した交流会となった。

協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。出部社協としても外部との情報交換は、自らを知る上で有効であると考えますので、今後も機会がありましたら交流会を設けていきたいと思っております。「出来ないからお願います」が第一歩である「出部おかげさまセンター」への要望も、ロコミ・電話など何でも構いません、お待ちしております。

願望のついで



井原市の文化向上に一役

「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気に満ちて日に新たな活動を続ける限り青春は永遠にその人のものである」は私が定年退職時に頂いた創業者松下幸之助の

自作の詩です。

勤めていた会社の綱領は世界文化の向上発展に寄与することでした。退職を機に井原に戻ってきた私はライフワークとして何か井原市の文化向上に役立つことはないかと想い、定年前に取得した将棋普及指導員資格を生かし、現在日本将棋連盟井原支部将棋教室を自宅で開いたり、出部公民館や出部小学校クラブ等で将棋を教えたりしています。藤井聡太七段のような人材を育てることが夢です。

もうひとつは備中神楽の面彫刻です。定年時に見た矢掛ブランドの面に衝撃を受け、この彫技術を修得したいという想いに駆られ、矢掛の面彫師に約一年半指導を受けました。

現在は毎週土曜日に愛好者が集まり神楽面を彫っています。今後は面彫技術を図面化し誰でもが簡単に彫れるようにと考えています。

出部地区いきいきサロン交流会

5月16日(木) 11:00~13:30

出部公民館 2F 多目的ホール 参加費 500円

申し込み：4月30日までに各サロン代表者にご連絡ください

いづえ地区まちおこし協議会のホームページ

<http://www.ibara.ne.jp/~izue-km/machi/>

いづえ地区まちおこし

検索

放課後等デイサービス こもれび

＝井原市下出部町＝
Te1/Fax 0866-75-4357



施設紹介

子どもに合った支援モットー

放課後等デイサービスこもれびは、歩行が難しかったり、医療的ケアが必要な重度心身

障害児を対象とした支援をする放課後等デイサービスとして、平成29年4月1日に下出

部町に開所しました。放課後等デイサービスとは、平成24年4月から始まった小学生から高校生までをサポートするサービスのことを言います。

また、不登校や心理的な難しさを抱えた子には、保育士による支援や、元支援学校教員による指導、臨床心理士によるカウンセリング、親相談などを積極的に行っていきます。

部町に開所しました。放課後等デイサービスとは、平成24年4月から始まった小学生から高校生までをサポートするサービスのことを言います。

ができるようスタッフを配置しその子に合った支援を行っていきます。例えば、寝たきりの子には看護師による医療的ケア、足が自由な子には理学療法士によるリハビリを実施しています。

加えて活動の一つとして、ブドウやお米の栽培にも子どもたちと挑戦する活動を行っています。子どもたちが元気にいきいきと過ごせるようスタッフ一同努力してまいりますので、どうぞ皆様温かく見守っていただけますと幸いです。

給食サービス30年度は終了



平成30年度事業の給食サービスは、3月10日で終了しました。

調理や配達していただいたボランティア、女性会、愛育委員、少年団のみなさん大変お世話になりました。関係者のみ

なさんに厚く御礼申し上げます。

出部地区社会福祉協議会

※給食サービスは新年度も11月から予定しています



小銭
彩夏ちゃん

女の子 (30年 8月17日)
=下出部町



西森
鈴夏ちゃん

女の子 (30年 7月 1日)
=上出部町



嶋崎
敦志ちゃん

男の子 (30年 9月14日)
=下出部町

女の子 (24年10月10日)



谷中
優帆ちゃん

女の子 (30年 8月31日)
=七日市町

谷中
優月ちゃん



榎崎
光ちゃん

女の子 (30年 7月31日)
=七日市町

飛び出せ
いずみこ



田辺
安奈ちゃん

女の子 (25年11月28日)



田辺
優作ちゃん

男の子 (30年 5月18日)

=七日市町

「ふるさと出部」では本号から赤ちゃんだけでなく元気なお子さんを紹介します。掲載するのは①名前(ふりがな付き)②生年月日③性別④町名⑤顔写真。保護者の連絡先を添えて出部公民館(〒715-0021、井原市上出部町1219)まで郵送するか持参してください。メール(izue-km@ibara.ne.jp)でも受け付けます。



下出部町170
☎0866-62-3822
11:30~15:00
17:30~22:00
定休日なし
前日までの予約制

レストラン土手

本格コース料理を家庭的な雰囲気の中でゆっくりお楽しみいただけます



井原町115
月~金9:00~翌5:00
土日9:00~24:00

各種朝食メニュー・カレー・丼ご用意しております。お持ち帰りできます



すき家
486号井原店



日替わり定食は毎日3種類の中から選んでいただけます

井原町313-2
☎0866-62-0741
11:45~14:00
17:00~22:00
休日：昼は土日・祝日
夜は日曜（予約は承ります）



登奈利



西江原町1236-1
☎0866-63-3003
11:30~14:00
18:00~21:00（完全予約制）
定休日：毎週月曜、第1火曜

夜は2000円からご予算に応じて承ります（4名様より）



カフェレストラン くらら



七日市町646
☎0866-62-0122
11:00~22:30※要予約
不定休



個室でゆったりと四季折々のおもてなしを、ご用意しております

一久



遊心美膳 高木

各種お祝いや記念日の食事、法要後の会食等の利用も可能です



下出部町2-14-8
☎0866-67-3833
11:00~15:30
17:00~21:30予約により前後
定休日：水曜（祝日の場合は翌日）第3火曜



お好み焼 このみ

上出部町1184-2
☎0866-62-8633
11:30~14:30
17:00~21:00
定休日：木曜

キャベツは腸にも体にも良いです。お子様にもどうぞ!!



船春 (せんしゅん)

七日市町114-3
☎0866-63-3070
11:30~14:00
17:00~23:00
定休日：日曜

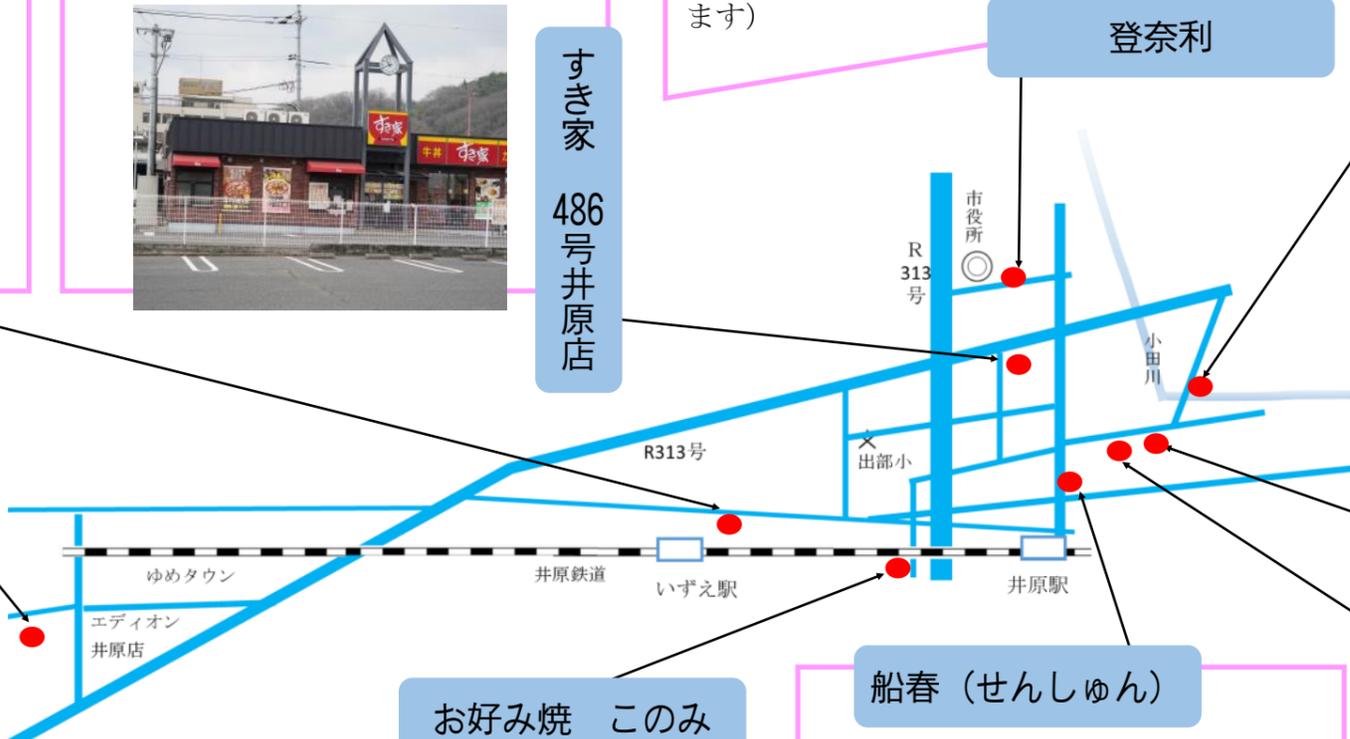
自家米と新鮮野菜の日替わり定食をワンコインでご利用ください



亀隆 (きりゅう)

七日市町627-1
☎0866-62-0238
11:30~20:00
定休日：月曜、第1・3火曜

定食メニュー取りそろえております。ぜひご利用ください





みんな輝く文化祭

(2月17日)



創造と工夫、力作集う





味わいの文化祭



少年団だより

七日市少年団は12月1日、デイキャンプを樺の杜（門田町）で実施した。団員と保護者たち35人が段ボールハウス作り挑戦。自然の中で手作りの楽しさを味わった。

段ボールハウス作り

七日市少年団デイキャンプ





西部

下出部笑カフェ

祝 1周年

下出部公民館で毎月第1木曜日に開いている下出部笑カフェが2月7日、1周年を迎えた。

祈りのとんど、高く遠く 1月13日

下出部子供会



今年度は6月の町民運動会を開催した後、7月の西日本豪雨による近隣地区の被害により、やむを得ず盆踊り・体育祭を中止することとなってしまいました。

しかし、12月の交通安全週間においてはテント村活動として、約200名のドライバーに安全運転の呼びかけを行い、また年末25日には、東西2班に分かれて拍子木を打ちながらの夜回りをを行い、地域住民の皆さまに火の用心

中部



地域の安全へテント村・とんど・夜回り…



を呼びかけました。

新年を迎え、消防第2部の総会開催にあたっては、自治会の皆さまに大変お世話になりました。

また、とんど祭りでは、今年は大覚寺派南斗山金嶋寺ご住職の徳毛様にもご参加頂き、一年間の無病息災、五穀豊穰、家内安全、身体健康をお祈りいただきました。

(岡田吉郎)

出初式、火災ゼロ誓う



井原市消防出初式が1月20日、井原市民会館で行われました。

本年は総務本部長の私・小田原浩貴が、出部分団を代表して団旗の旗手を務めさせていただきました。約千人の前で、貴重な経験をさせていただき、分団長をはじめ

配偶者表彰を受けて

土井分団長の妻真樹さん

このたび主人が消防団活動継続15年ということで、井原市団



長より私も配偶者感謝状をいただきました。

入団したときに生まれたばかりだった長女が、今では高校1年生になりました。主人自身も消防団活動を始めていくつもの段階を経て、今年、分団長として出部分団を引っ張っていく立場となったようです。

自宅ではわからない消防団での活動ですが星が1つ増え2つ増えるたびに責任も増え、大変そうだなあといつも感じています。夜中でも休日でも火災メールやサイレン音に敏感に反応し、すっかり消防人間となっています。

これからも体気をつけて頑張っていってほしいと思います。

本年度本部役員の皆様に変感謝しております。

また、今後も地域に根付いた消防団活動を行っていく所存であり

ますので、出部地区住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(小田原浩貴)

亀老会

元気はつらつ新年に集う

少子高齢化や地域家庭のつながりの希薄化が進むとともに、近年多発する災害への備え問題など地

域社会を取り巻く環境は大きく変化しております。こうした中で私たち高齢者が活力をもつて一人一人が助け合い協力し合って、自分の健康作りに取り組み、お互いの和と絆を大切に

して地域社会の為に努めていく必要があると思います。さて、今年も恒例の新年互礼会を1月10日に出部公民館で開催致しました、毎年参加者が少ないので今年は少しでも多くの方に参加していただくために、会員の

福老会

七日市福老会は1月13日、出部公民館で36人が参加して「新年の集い」を開催しました。今年も元気に暮らせますようにと願い、ほそや医院院長の細谷正晴先生から「高齢者の健康」について講話をお聞きした後、井原備中神楽保存会・小中伝承教室の子どもたちによる力いっぱい

の神楽を楽しみ元気をいただきました。和やかな会食後は、全員でビンゴゲームにより会を盛り上げ、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。

最後にビンゴゲームを行い、お酒も入り会場の雰囲気も最高に盛り上がり、楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

これから亀老会の会員の皆さんが様々なアイデアを出し合い、集い合う場を作り色々な行事に多数参加して下さいと思います。

出部福寿会

秋の旅を満喫

出部福寿会は10月30日、親睦旅行で三原市の八天堂みはら臨空工場、三景園を訪れました。焼きたてパンの実習や築山池泉回遊式庭園・三景園の散策…。天候にも恵まれ楽しい一日でした。ただもう少し参加者が多ければとも感じました。



平成30年10月30日 出部福寿会 広島三景園

105人盤上で熱戦

新春囲碁・将棋大会



出部公民館主催の「山陽新聞社賞争奪新春囲碁・将棋大会」が1月20日、出部公民館で行われた。

囲碁の部70人、将棋の部35人が出場し、盤上で火花を散らした。

上位成績者は次のとおり。

(敬称略)

◎囲碁	A級	優勝	三宅俊光	◎将棋	A級	優勝	山崎清治
	準優勝	安部弘和	準優勝	松井俊之			
	第3位	小林孝志	第3位	内山陸男			
	B級	優勝	日高安広	B級	優勝	徳山裕文	
	準優勝	宮田豊	準優勝	妹尾泰行			
	第3位	井上哲治	第3位	坂口拓都			
	C級	優勝	高橋剛志	C級	優勝	渡辺純誠	
	準優勝	田中毅	準優勝	廣畑徳朗			
	第3位	新井啓三	第3位	作田寛樹			

ご寄付ありがとうございました

地域のために満中陰志のご寄付をいただきました。謹んでお礼申し上げます。(敬称略)

(中部自治連合会)

畑地 温子 亡夫
 細川 省二 亡母
 井上 吉弘 亡父
 山田幾久枝 亡父
 北田 浩之 亡父

(下部自治連合会)

石丸 貴人 亡母
 山本 尚志 亡母
 藤井 弘樹 亡父

(出部社協)

山田幾久枝 亡父
 石崎 徹 亡母
 畑地 温子 亡夫

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

小さな町が、傑出した芸術家や文化人を輩出するのは稀だ。地域の文化は、才能豊かなインフルエンサーの力ではなく、身近な多くのタレントがリードし支えている。文化度は、すそ野の広がりで見られるはずだ。出部地区文化祭では、芸能発表に17教室150人が出演。35団体の力が並んだ。一部の人のためではなく、みんなが主役のみんなが作ったイベントは例年になく盛り上がりだったという。集い、楽しみ、共に高め合う公民館のサークル活動は、大きなにぎわいも創出した。(S・F)